

第15回高知県木の文化賞

木の文化を実践している人たちの部

黒潮町佐賀北部活性化推進協議会



高知県

団体の概要



黒潮町佐賀北部地域では、明治から昭和30年頃まで和紙の原料である楮の栽培が盛んに行われており、特に同地域の若山地区で栽培された楮は「若山楮」と呼ばれ、良質な楮として全国に知られていましたが、和紙需要の縮小、和紙原料の輸入などにより生産が途絶えていました。黒潮町佐賀北部活性化推進協議会は、平成20年から「若山楮」の復活を目指し、楮の栽培、白皮の生産、「蒸し剥ぎ」「へぐり」といった和紙原料作りの工程を体験するイベント

や地元小学校での楮学習を行っています。栽培面積は65.57aまで拡大し、白皮の生産量は、平成28年度には取り組み開始以降最大の106.875kgを達成しています。平成29年3月には和紙工房を新設し、同年7月から新しい工房での紙漉き体験を試行的にスタート。今後も地元の小学生や県内外からのイベント参加者など、多くの人々に「若山楮」に親しむ場を提供し、楮栽培や和紙づくりの技術や文化を伝えていきます。

選 評

- ・特産品であった楮の栽培を復活させ、その素晴らしさをワークショップ等を通じて多くの人に伝えていくなかで、一人の若き後継者が出来た点を評価する。
- ・伝統的な和紙作りに誠実に取り組んでいる点が評価できる。
- ・今後も若い人材を確保し、地域を巻き込んで活動を広げてもらいたい。

